

山梨ユビキタス減災情報システム協議会
第4回山梨減災情報システム分科会議事録

1. 開催日時：平成24年11月6日 15:00～17:00
2. 開催場所：山梨大学 B3号館 2階 L会議室
3. 出席者：会員（大沢 彰、廣瀬 光男、小野 俊治、加藤 万寿夫、鈴木 猛康、宮本 崇）
 ユーザー（地方自治体）
 （城野 仁志、井上 義彦、広瀬 信吾、望月 武士、井出 良司、篠原 伸宗、
 手塚 千広、長澤 友和、長田 亮治、三井 浩樹、三井 猛樹、有泉 浩貴、
 神宮寺 隆、島田 淳、佐藤 邦彦、小林 清文、大石 喜仁、山口 広）
 ※敬称略

配布資料

- 4-1 第3回分科会議事録
- 4-2 参加者名簿
- 4-3 設立経緯、開催概要、メンテナンス費用について
- 4-4 経緯説明
- 4-5 研究計画書

3. 議事：

（1）協議会会長挨拶

鈴木協議会会長より、本協議会設立趣旨説明を含め、挨拶が行われた。

（2）分科会長挨拶

大沢分科会長より、挨拶が行われた。

（3）これまでの検討経緯

大沢分科会長より、第1回～第3回の分科会開催の経緯説明が行われた。

（4）災害対応管理システム先行導入について

鈴木協議会会長より、特定非営利活動法人防災推進機構の予算を用いて災害対応管理システムの構築を先行して行う市町の選定結果が報告された。選定されたのは、甲府市、甲斐市、昭和町、北杜市、南アルプス市。既に構築済みの山梨県、市川三郷町、中央市を含め、来年までの災害対応管理システムが構築される機関は、以下の通り。

- ・山梨県
- ・甲府市、中央市、昭和町、甲斐市、南アルプス市、北杜市、市川三郷町
- ・甲府地区消防本部、(峡北消防本部)、南アルプス市消防本部

甲府市、南アルプス市、北杜市は既に構築を予定している。昭和町は持ち帰って検討。

甲斐市は欠席のため、後日鈴木協議会会長が説明する。

(5) (財) 河川情報センターの研究助成について

資料4-5に基づいて、鈴木協議会会長より山梨大学が採択された研究助成の内容が説明された。研究の内容は、平成22年に中央市で実施した実証実験を拡大させ、複数の市町間の広域避難を取り扱ったものである。警察本部、マスメディアを実証実験に参加させることが、河川情報センターより要求された。

(6) 導入後のメンテナンス費用負担について

大沢分科会長より、クラウド化した際のメンテナンス費用の概算額が提示された。

(7) 災害対応管理システムによる広域連携に関する検討協議会の設立の提案

鈴木協議会長より、災害対応管理システムを既に構築あるいはこれから先行導入する市町を中心とし、山梨県をはじめ(財)河川情報センターの研究助成プロジェクトに関係する国交省、気象台、マスメディア等を会員とする標記協議会の設立が提案され、了承された。なお、災害対応管理システムを構築しない市町村も、今後のシステム導入プロセスを見学しながら、システム構築の準備をしていただくため、本協議会に参加できることとした。協議会ならびにシステム構築に伴う研修のスケジュールは、新規に設立する協議会で提示する。

(8) その他

分科会に出席したすべての市町より、災害対応管理システム導入に向けた考えを伺った。

以上